

# 2024年12月期 決算説明資料

2025年2月  
株式会社福田組

証券コード：1899

# 目次

1. 会社概要	P3
2. 2024年12月期決算概要	P6
3. 2025年12月期通期見通し	P13
4. 中長期経営計画の現状と今後	P18



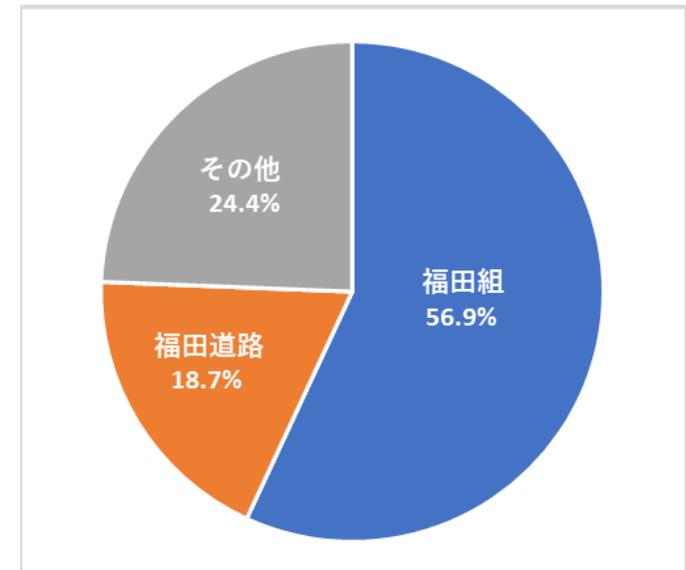
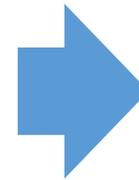
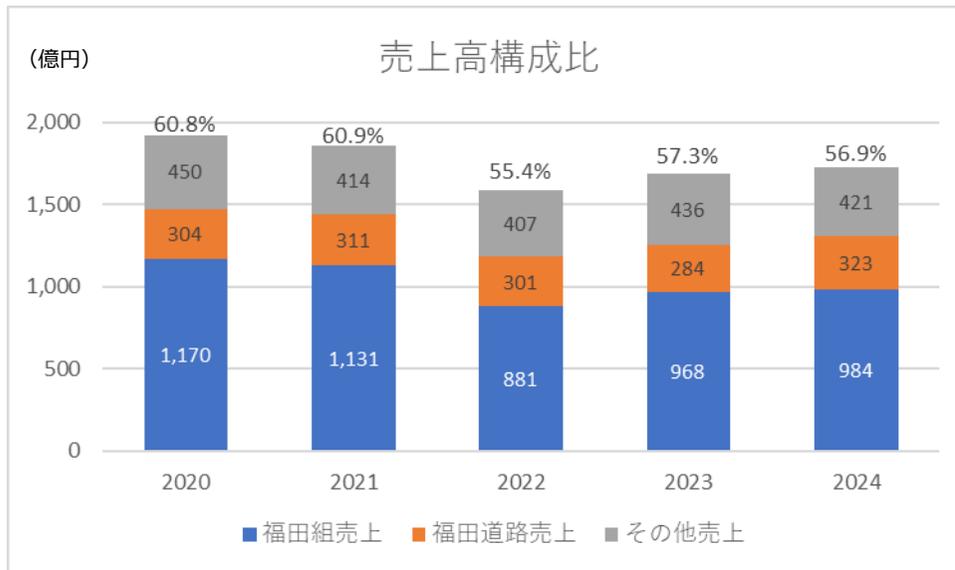
# 会社概要

商号	株式会社福田組 (Fukuda Corporation)
事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・新潟県を地盤として全国展開する総合建設（土木・建築）会社</li><li>・当社の企業集団は、当社、子会社26社、関連会社6社で構成</li><li>・優良工事表彰・優良建設技術者表彰を数多く受賞</li></ul> <p>*平成26年度以降、国土交通省「工事成績優秀企業」認定を継続</p>
創業	1902年（明治35年）1月
設立	1927年（昭和2年）12月
業績	売上高1,665億円、営業利益76億円（連結：2024年12月期）
資本金	51億円（2024年12月末現在）
本社所在地	新潟県新潟市中央区一番堀通町3-10
東京本社	東京都千代田区九段北3-2-4
支店・営業所	新潟県以外に北海道、東北、東京、名古屋、大阪、九州など、全国
従業員数	2,215名（連結：2024年12月末日現在）

# 売上高構成比

**福田組単体の売上高構成比は56.9%**  
**福田道路、その他の業績は安定的に推移**

売上高構成比  
(2024年12月期)



※各構成比にあたっては、連結調整前の個別数値を使用しています。



# 2024年12月期決算概要

## 利益が大きく増加

売上高 1,665億円 (前期比 2.7%)  
営業利益 76億円 (前期比 47.3%)

**売上高**：工事進捗が順調に推移したことや、大型開発不動産の販売売上が計上されたことにより前期比若干増加。

**営業利益**：不動産事業売上総利益額が大きく増加、並びに主要子会社における収益性の高い工事の増加により、利益率が上昇し、営業利益は前期比で大きく増加。

# (連結) 2024年12月期決算



当初業績予想と比べて、売上高は概ね予想通り。利益は大幅に超過。

単位：百万円

	2023/12 ①	2024/12 ②	増減 ②-①	増減率	2024/12 当初業績予想 (2/14公表)
売上高	162,243	<b>166,589</b>	4,346	2.7%	166,400
売上総利益	14,961 (9.2%)	<b>17,824</b> <b>(10.7%)</b>	2,863	19.1%	16,100 (9.7%)
販管費及び 一般管理費	9,756 (6.0%)	<b>10,159</b> <b>(6.1%)</b>	402	4.1%	10,300 (6.2%)
営業利益	5,205 (3.2%)	<b>7,665</b> <b>(4.6%)</b>	2,460	47.3%	5,800 (3.5%)
経常利益	5,478	<b>7,957</b>	2,478	45.2%	6,000
親会社株主帰属 当期純利益	3,386	<b>5,309</b>	1,922	56.8%	3,900

\* カッコ内は対売上高比率

# (連結) 2024年12月期決算概要：セグメント別売上高



## 土木工事及び不動産セグメントが増加

単位：百万円

セグメント名		2023年12月期 ①	2024年12月期 ②	増減 ②-①	増減率
事業別	土木工事	63,690	<b>69,765</b>	6,075	9.5%
	建築工事	82,496	<b>78,122</b>	△4,374	△5.3%
	建設附帯	13,261	<b>12,518</b>	△742	△5.6%
	不動産	2,141	<b>5,583</b>	3,442	160.8%
	その他	652	<b>599</b>	△53	△8.2%
セグメント 小 計		162,243	<b>166,589</b>	4,346	2.7%
全社費用		—	—	—	
合 計		162,243	<b>166,589</b>	4,346	2.7%

※ 建設附帯セグメント：主として子会社における合材製造・販売部門と重仮設材リース部門が対象

土木工事セグメントは、主要子会社を中心に増加。  
不動産セグメントは、親会社における大型開発不動産の販売により大きく増加。

# (連結) 2024年12月期決算概要：セグメント別営業利益



## 建築工事及び不動産セグメントが大きく増加

単位：百万円

セグメント名		2023年12月期 ①	2024年12月期 ②	増減 ②-①	増減率
事業別	土木工事	3,610	<b>3,587</b>	△22	△0.6%
	建築工事	1,946	<b>3,714</b>	1,768	90.8%
	建設附帯	△519	△ <b>388</b>	130	25.1%
	不動産	281	<b>877</b>	596	212.1%
	その他	43	<b>31</b>	△11	△26.8%
セグメント小計		5,361	<b>7,822</b>	2,460	45.9%
全社費用		△156	△ <b>156</b>	△0	△0.4%
合計		5,205	<b>7,665</b>	2,460	47.3%

※ 建設附帯セグメント：主として子会社における合材製造・販売部門と重仮設材リース部門が対象

建築工事セグメントは、売上総利益率上昇により増加。  
不動産セグメントは、親会社の大型開発不動産販売の計上により増加。

# (連結) 2024年12月期決算概要：貸借対照表



## 流動資産が大きく増加

単位：百万円

	2023/12末 ①	2024/12末 ②	増減 ②-①	備考
流動資産	99,801	<b>105,433</b>	5,632	現金預金：+3,428 売上債権：+3,853 棚卸資産：△1,099
固定資産	36,929	<b>37,380</b>	450	有形固定資産：△259 投資その他資産：+726
資産合計	136,731	<b>142,814</b>	6,083	
流動負債	48,953	<b>50,004</b>	1,050	仕入債務：△2,809 未払法人税等：+642 未成工事受入金等：+2,485 預り金：+893
固定負債	7,444	<b>7,402</b>	△41	
負債合計	56,397	<b>57,406</b>	1,009	
純資産	80,333	<b>85,407</b>	5,073	
負債純資産合計	136,731	<b>142,814</b>	6,083	
自己資本比率	58.2%	<b>59.3%</b>	1.1%	

### <流動資産>

工事進捗が順調に推移したことにより、完成工事未収入金が増加し、売上債権が増加。

# (連結) 2024年12月期決算概要：キャッシュ・フロー



## 現金同等物期末残高は増加

単位：百万円

	2023/12 ①	2024/12 ②	増減 ②-①
現金同等物 期初残高	28,146	<b>29,418</b>	1,271
営業活動C F	7,494	<b>5,877</b>	△1,617
投資活動C F	△1,875	△ <b>1,079</b>	796
フリーC F	5,619	<b>4,797</b>	△821
財務活動C F	△4,347	△ <b>1,369</b>	2,977
連結範囲減少額	—	—	—
現金同等物 期末残高	29,418	<b>32,846</b>	3,428

<営業活動C F> 未完成工事受入金の増加による収入が大きかったことから増加。

<投資活動C F> 有形固定資産の取得等により支出超過。

<フリーC F> 営業活動C Fの減少により、フリーC Fは減少。

<財務活動C F> 長期借入金の返済や、配当金の支払い等により支出超過。



# 2025年12月期通期見通し

# (連結) 2025年12月期業績見通し



売上高は当事業年度並みも、減益を見込む。

単位：百万円

	2024/12① (実績)	2025/12② (計画)	増減 ②－①	増減率
売上高	166,589	<b>167,000</b>	410	0.2%
営業利益	7,665	<b>6,000</b>	△1,665	△21.7%
経常利益	7,957	<b>6,300</b>	△1,657	△20.8%
親会社株主帰属 当期純利益	5,309	<b>4,300</b>	△1,009	△19.0%

## <売上高>

・前年からの繰越工事高が確保されており、前年並みの見込み。

## <利益>

・当事業年度のような大型開発不動産案件が無く、主要連結子会社の利益率が前年水準までは見通せないことから減益となる見込み。

# (個別) 受注高 見通し

土木・建築においては、引き続き1,000億円の受注を目指す。

単位：百万円

	2024/12 <sup>①</sup> (実績)	2025/12 <sup>②</sup> (計画)	増減 ②-①	増減率
受注高	95,073	<b>102,000</b>	6,926	7.3%
(土木)	(21,087)	<b>(26,000)</b>	4,912	23.3%
(建築)	(72,885)	<b>(74,000)</b>	1,114	1.5%
(不動産)	(1,101)	<b>(2,000)</b>	898	81.6%

## <土木>

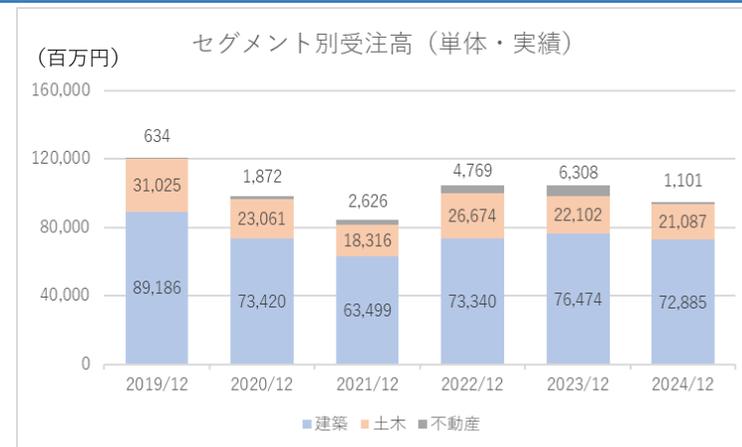
- ・官庁工事の安定的な受注を図りながら、民間工事の受注量の増加を目指す。

## <建築>

- ・旺盛な建設需要を背景とするも、限られた人的資源を効率的に配置できる水準を見込む。

## <不動産>

- ・2025/12期は端境期のため、次なる大型案件の受注を目指す。



# (個別) 土木・建築の受注高・次期繰越工事高



受注高は土木・建築共に減少。  
次期繰越工事高は建築が増加。

単位：百万円

	2022/12	2023/12 ①	2024/12 ②	増減 ②-①	増減率
受注高*	100,014	98,576	<b>93,972</b>	△4,603	△4.7%
(土木)	(26,674)	(22,102)	<b>(21,087)</b>	(△1,014)	△4.6%
(建築)	(73,340)	(76,474)	<b>(72,885)</b>	(△3,589)	△4.7%
次期繰越工事高*	110,354	112,584	<b>112,135</b>	△448	△0.4%
(土木)	(39,748)	(37,812)	<b>(34,676)</b>	(△3,136)	△8.3%
(建築)	(70,605)	(74,771)	<b>(77,459)</b>	(2,687)	3.6%

\* 不動産開発の受注は除く。

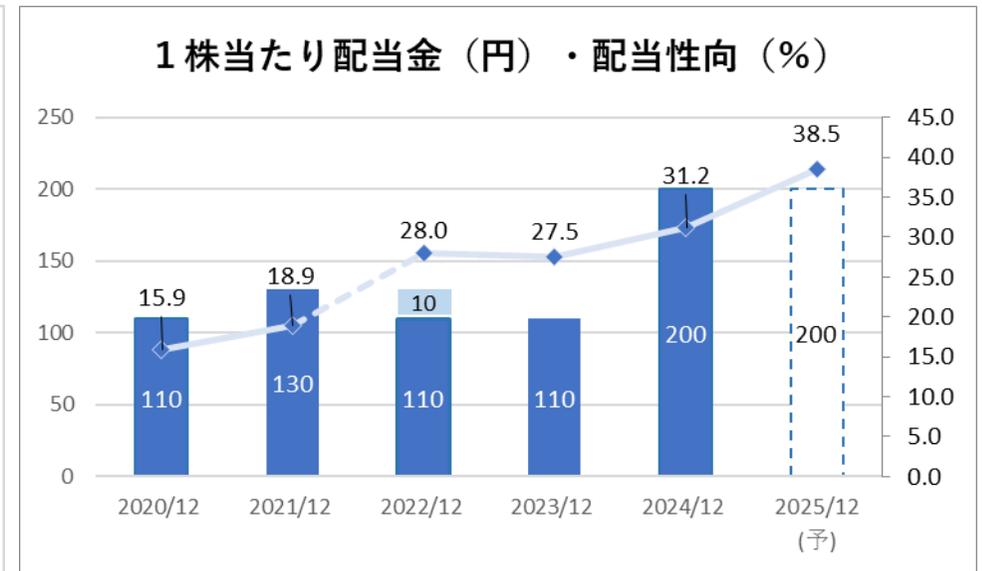
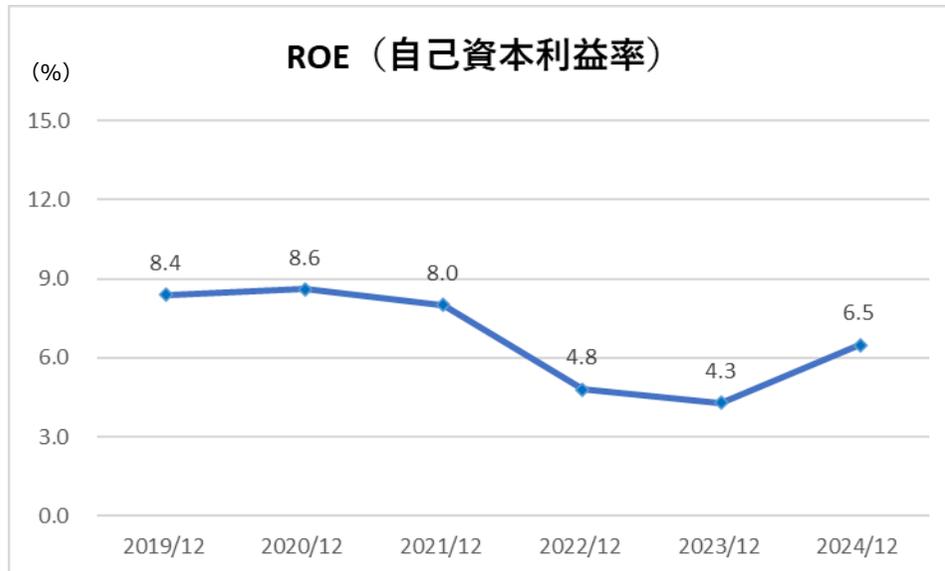
# (連結) 安定的な配当・株主還元を実施



株主還元：当初計画を上回る業績結果および基本配当の見直しを総合的に考慮し、2024年12月期は増配を行う（配当性向31.2%）。また、2025年12月期は基本配当を110円から200円に引き上げ、利益還元に努めていく予定。

2024年12月期 : 200円

2025年12月期（予想） : 200円





# 中長期経営計画の現状と今後

# (連結) 中期経営計画2025進捗状況



- ・民間建築工事等を中心に売上高が増加。建設コストの価格転嫁も適正に進み始めており、利益率は一定の改善がみられる。
- ・3年間で累計49億円の投資を実施。引き続き『質の充実』に向けて着実に投資を行っていく。
- ・コロナ禍や人手不足など事業環境の大きな変化により、中期経営計画の目標数値達成は厳しい状況である。但し、中期経営計画の骨子や施策に変更はなし。

項目	2023年12月期 実績	2024年12月期 実績	2025年12月期 計画	2025年12月期 中期経営計画(参考)
売上高	1,622億円	1,665億円	1,670億円	1,850億円
営業利益	52億円	76億円	60億円	84億円
営業利益率	3.2%	4.6%	3.6%	4.5%
自己資本比率	58.2%	59.3%	62.6%	50.0%
ROE	4.3%	6.5%	5.0%	8.0%程度
配当性向	27.5%	31.2%	38.5%	20.0%以上
投資額 ※ ( ) は累計額	12億円 (31億円)	17億円 (49億円)	26億円 (75億円)	75億円

# (連結) 中期経営計画2025の位置づけ

## 当社の目指すべき姿

### 長期ビジョン2025 『100年の歴史の伝承と次の100年に向けた挑戦』

(2016年2月公表)

強い連結経営で  
地方ゼネコンの枠を超えた全国展開

全てのステークホルダーと  
WIN・WINの関係を構築

品質と安全で  
顧客満足の創造

高い技術力・高い提案力  
のある企業集団

優秀な人材の確保と活躍  
できる環境の整備

収益性指標：ROE 安定的に8%程度

株主還元：純資産配当率2.0%又は配当性向20%を目安に

次期長期  
ビジョンへ

2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025

2026……2030……

前 中計2018 phase1

前 中計2021 phase2

- ・業績回復
- ・受注取り込み
- ・財務基盤の安定化

- ・事業のポートフォリオ変革
- ・新たな収益基盤
- ・人材の確保・多様化

中計2025  
最終phase

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

2030年及び  
その先の  
更なる飛躍へ

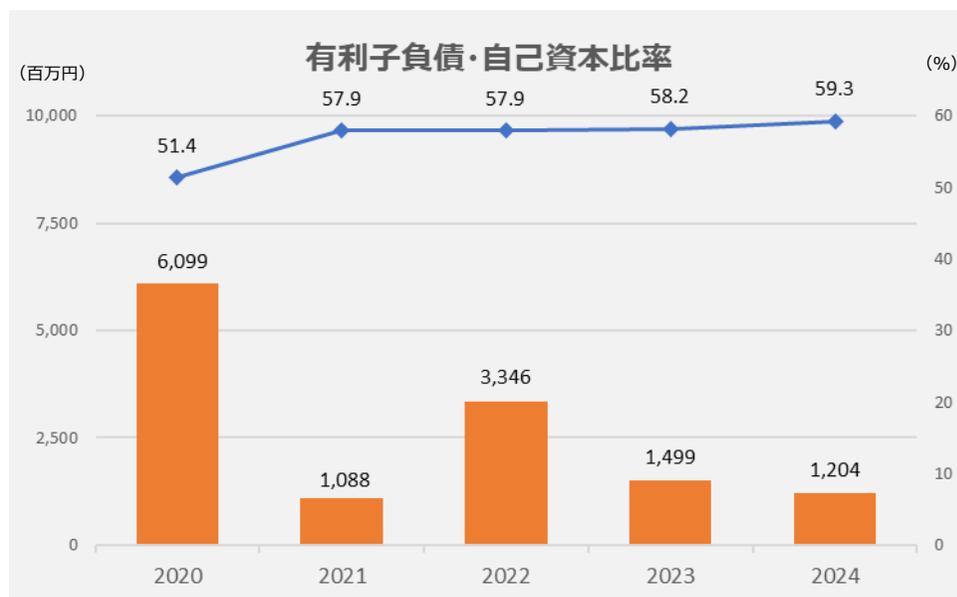
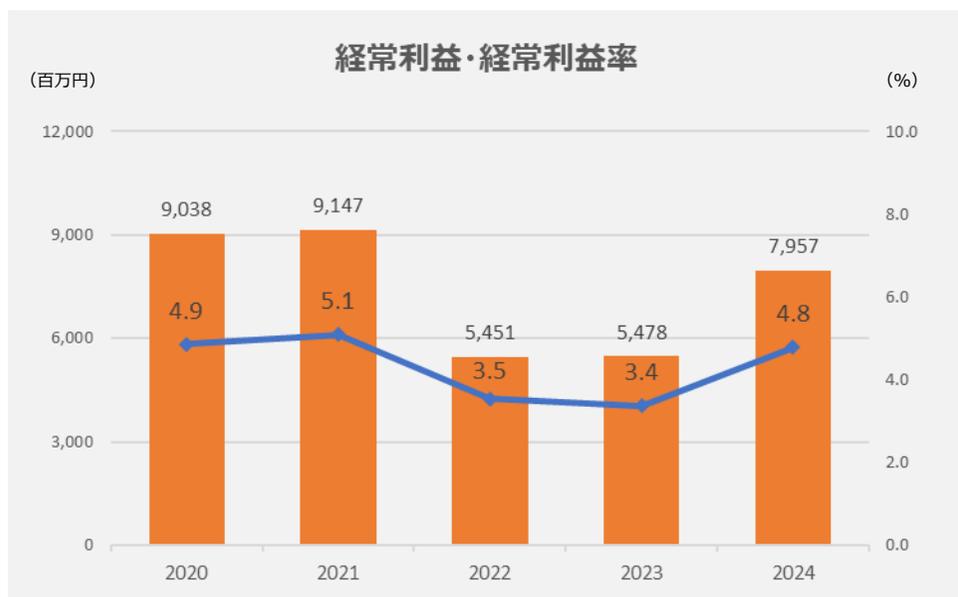
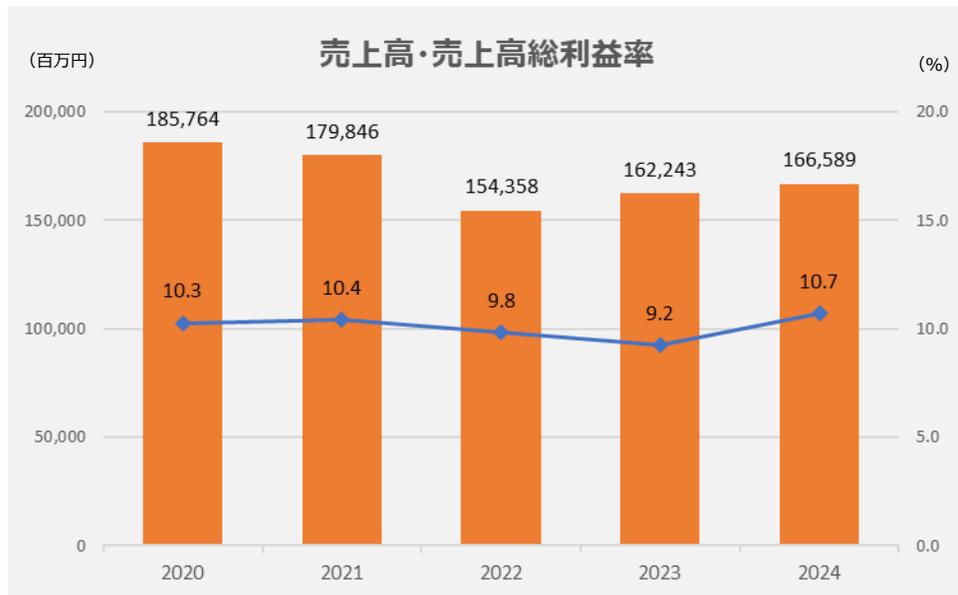


## 地域に根差し、地域を超えて マルチ・ステークホルダーとの 強い絆を築く



社会環境の変化を成長のエネルギーとし、真の課題に対し丁寧に向き合い、解決に向けて全力で取り組む。柔軟な思考の変化による挑戦と、安定した経営基盤をより効率化・強固にして取り組む挑戦を同時に行い、持ち前の誠実さで、顧客・社員・株主・地域社会・協力企業にとって欠かせないパートナーを目指す。

# (ご参考) 主要業績指標の推移



本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、  
本資料の発表日、現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、  
実際の業績は、様々な不確定要素により異なる場合がございますことをご了承ください。

# 100年先も誠実



**株式会社福田組** 証券コード：1899

## 2024年12月期決算説明資料

### 2025年2月

連絡先：経営企画部 経営管理室 TEL 025-266-9199（大代表）